

令和5年第2回（2月）山陽小野田市教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和5年2月16日（木曜日） 15時00分 開会

2 場 所 山陽小野田市役所 本館3階 第2委員会室

3 出席委員 教 育 長 長 谷 川 裕 職務代理者 砂 川 功
委 員 竹 田 佳 枝 委 員 中 村 眞 也
委 員 末 永 育 恵

4 欠席委員 0人

5 委員及び傍聴人を除くほか、会議に出席した者の氏名

教育部長	藤 山 雅 之	教育総務課長	浅 川 縁
学校教育課長	長 友 義 彦	埴生幼稚園長	桶 谷 美 和
学校給食センター所長	和 田 英 樹	社会教育課長	船 林 康 則
中央図書館長	山 本 安 彦	歴史民俗資料館長	若 山 さやか
中学校長会長	山 本 時 弘	書 記	野 原 嵩 恵

6 傍 聴 人 0人

7 議事日程

(1) 開 会

(2) 会議録署名委員の指名

(3) 報 告

(4) 休 憩

(5) 議 事

① 議案第2号 山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について (教育総務課)

② 議案第3号 山陽小野田市文化財審議会委員の任免について (社会教育課)

③ 報告第2号 第1回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について (社会教育課)

(6) その他

① 県費負担教職員人事について (学校教育課)

② その他

(7) 閉 会

開 会

○長谷川教育長

それでは定刻になりましたので、2月の定例教育委員会会議を開かせていただきます。
本日は委員全員ご出席ですので、会議が成立していることをご報告させていただきます。

会議録署名委員の指名

○長谷川教育長

会議録署名委員の指名を行います。今回は竹田委員、末永委員よろしく願いいたします。

会議非公開の決定

○長谷川教育長

本日の議事日程の中の「6. その他」の「県費負担教職員人事について」は、特定の個人に対する審議であり、公開することにより、職員との信頼関係が損なわれると認められるとともに、人事の適正な執行に支障が生ずると認められるため、非公開にしたいと思います。これに賛成される方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい、賛成多数と認めます。それではレジュメに沿って進めてまいります。

各課・館業務の報告

○長谷川教育長

それでは、私から、まず2月5日、日曜日に開催されました山陽小野田市小中学校PTA連合会父親母親研修大会について報告させていただきます。この大会も3年ぶりの開催となりました。今年度は、高千帆中学校が当番校となり、吹奏楽部の生徒による演奏にはじまり、高千帆中学校PTAの実践を石川PTA会長自らが発表されました。その発表内容は斬新で他の学校のPTAの皆さんも大いに刺激を受けられたのではないかと思います。私はあいさつの中で、「未来を担う子どもたちの育成には、我々大人たちがつながりを大切に、団結して取り組む必要があること。そして、そのつながりの中で、いろいろな人を知り、いろいろな考えにふれ、他では得難い経験ができること。そして、そのつながりや人脈は歳を取った今でも自分の財産となり豊かな生活につながっていること。」を自分のPTA活動の経験を交えてお話しさせていただきました。

次に、有帆地域交流センターの皆さんが、昨日、優良公民館文部科学大臣表彰の受賞報告のために市長を表敬訪問されたことの報告です。この受賞は、小学校との合同学習フェスタ（地域学校協働活動の取組）や、まなビト・ふれ愛カフェにみられる学びとふれあいの場づくりと地域から企画

員を募り地域の皆さんの主体性を大切にされたセンターの企画運営、そして、皆さん御存知のとおり、地域の人となり伝わり、地域の人を身近に感じる「公民館だより」の発行などが高く評価されたものと聞いております。これからも持続可能な地域社会の実現をめざした取組が充実することを願う次第です。

最後に、コロナ対応についてです。皆さんも報道で御存知のことと思いますが、国は新型コロナウイルス感染症の「5類」移行に伴う感染防止対策としてのマスクの着用の在り方について新たな政府対処方針を発表しました。これによると学校の教育活動ではマスクの着用を求めないことを基本とすることとなります。適応時期は学校においては4月1日からとなりますが、その前に実施される卒業式におけるマスクの着用については、卒業式の教育的意義を考慮し、児童生徒等はマスクを着用せず出席することを基本としています。これを踏まえて文科省から「卒業式におけるマスクの取扱い等について」が示されました。委員の皆様にもその資料をお配りさせていただきました。教育委員会といたしましてはその方針を各学校に周知するとともに、この方針に沿った卒業式を実施する方向で指導してまいりたいと考えています。私も一読しましたが、基本的には卒業生についてはマスク着用は求めない、でもその他のものについてはマスクを着用して出席することになるかと思っております。ですから、教育委員さんも卒業式に参加していただきますけれども、来賓についてはマスクを着用ということになるかと思っております。

私からの報告は以上です。何かご質問等はございますか。

よろしいですか。それでは藤山教育部長、よろしく申し上げます。

○藤山教育部長

私の方からは特に報告はございません。

○長谷川教育長

はい。それでは浅川教育総務課長、申し上げます。

○浅川教育総務課長

はい。1点目は共催後援の報告です。別紙共催後援一覧をご覧ください。この1か月間に教育委員会が共催後援を承諾した行事等の一覧となりますので、ご覧いただければと思います。

2点目が教育総務課関係の事業についてご報告いたします。

まず高千帆小学校の校舎建築事業については、外構工事、渡り廊下仕上げ工事等を終え、今月2月22日の引き渡しに向け検査の準備が行われております。引き渡しがありましたら、教育委員の皆様にもお披露目をする場を設けたいと考えております。

次に厚陽小学校において今年度は遊具の肋木を設置するため、2月に入りまして工事業者が現場に入り、2月11日に完成しております。これから検査をして使用できるようにしていきます。

教育総務課からは以上です。

○長谷川教育長

はい。高千帆小学校の教室棟の完成が間近だという報告がありました。高千帆小学校にはこれまでかなり我慢させてきた、やっと待望の教室ができて、教室に余裕が生まれるということになるかと思っております。また完成式には委員の皆様にもぜひ参加して、施設をご覧いただけたらと思います。

はい、それでは長友学校教育課長、申し上げます。

○長友学校教育課長

はい。学校教育課からご報告いたします。

まず新型コロナウイルス感染症についてです。2月に入り感染も収束の方向に進んでいます。教

職員・児童生徒の感染状況は、小学校では昨日までで24人、中学校では6人、幼稚園では0人です。またインフルエンザについての報告はありません。先ほど教育長からも報告がありましたとおり、卒業式のマスク着用について文部科学省・県教委から通知がありました。本市におきましても同様の対応を進めてまいりたいと思いますが、お配りされている資料の裏面にもありますが、マスクを外すことに抵抗のある子どもも一定数出ると予想されますので、マスクを外すことは同調圧力となって差別・偏見等に繋がらないように、学校ではきめ細やかに対応してまいりたいと考えております。

次に第22回全国中学生創造ものづくり教育フェアについてです。小野田中学校2年、俵優奈さんが家庭分野Ⅱの部門において、現代的にアレンジされた手作りのチャイナドレスを作成し、特許庁長官賞に選ばれました。この賞は文部科学大臣賞、厚生労働大臣賞に続く3番目の賞となります。今年度は中学生がこうした大きな賞をもらったり、地域で自分たちができることを取り組んだりと色々な活躍を耳にします。これも地域連携教育やキャリア教育に各学校がしっかり取り組んでいる成果と感じており、これからも様々な取り組みをなされることを期待しております。

最後に年度末となり、今年度の評価、振り返りを行うと共に来年度の計画作成が進んでおります。これらについては学校運営協議会において報告されております。今年度学校運営協議会に児童生徒が参加し地域の方々と熟議を行うことで、子ども達自身の目標が定まり意欲的に取り組むようになったという報告をいくつかの学校から受けております。まずは子ども達が目標をしっかりと持ち活動し、そして振り返りを行う、そしてまた新たな目標を得るというサイクルを子ども達に身につけさせ、子ども達の大きな成長につなげていきたいと考えております。来年度以降につきましても、学校運営協議会に児童も参加することができるように、今年度の好事例を共有できるようにしてまいりたいと思います。以上です。

○長谷川教育長

はい。ありがとうございます。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

インフルエンザの流行が少し心配されたところですが、あれから少し落ち着きを見せているようですね。まだ新聞等には学級閉鎖をした他市の情報が出ています。まだ気を許せない状況だとは思いますが、対応の方をよろしく願います。

はい、それでは桶谷埴生幼稚園長、よろしく願います。

○桶谷埴生幼稚園長

はい。埴生幼稚園です。よろしく願います。

園の様子を4点お伝えします。

初めに「かるた出前教室」についてです。2月2日にかるた出前教室が行われました。これは文化スポーツ推進課がかるた文化を若い世代に知ってもらおうと、今年度は幼稚園・保育園の年長児を対象に開催されたものです。講師は競技かるた四期クイーンの今村美智子先生です。当日は厚陽保育園の年長児や藤田市長も来園され、一緒にお坊さんめぐりや競技かるたを楽しみました。今村先生からは「子ども達が楽しそうにかるたで遊ぶ姿が見られ、今日は幸せでした」と言ってくれました。年長児は文化に触れる体験と共に、厚陽保育園の年長児たちと交流できたことでマナーやコミュニケーションなども学べる機会となりました。市が推進するかるたの文化を園生活の環境として取り入れていきたいと思っております。埴生幼稚園新聞にも掲載しておりますので、後ほどごらんください。

次に新規採用研修についてです。今年度受講対象者となった職員も年内10日間の園内研修と年

間10日間の園外研修合わせて20日間の全ての研修が終了しました。受講職員は保育経験20年にして受講対象者となりましたが、今までの経験をもとに前向きに参加していました。園内研修では指導計画の実践・振り返りを行いながら、研修指導員から具体的にいただいた助言が日々の保育教育の奥深さに繋がっていました。1年間の研修を生かして今後は教えてもらう側から、伝えられる側の教師としての成長を期待しているところです。

続いてフェンス補修についてです。以前お伝えしていた園舎東側のフェンスの破損の件ですが、無事補修していただくことができました。子ども達の安全に繋がっていきたいと思います。

最後に途中入園についてです。2月20日に満3歳児が1名、3月1日に満3歳児1名、計2名が入園予定となっております。

埴生幼稚園からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

○竹田委員

はい。

○長谷川教育長

はい、竹田委員。

○竹田委員

はい。いつも見させていただいている埴生幼稚園新聞、本当に細かく写真もたくさん入っていてとてもいいなと思っております。この配布先っていうのはどの程度までですか。

○桶谷埴生幼稚園長

保護者への配布は「園だより」「クラスだより」というのを行っております。この埴生幼稚園新聞に関しては園に掲示しております。毎回保護者は目にされます。これを携帯の写真に撮って帰られる方もいらっしゃいます。

○竹田委員

そうですね。とても良くできていていいなと思ったので、色んな所、地域交流センターとかにもあるといいなと思いました。

○桶谷埴生幼稚園長

ありがとうございます。検討してみます。

○長谷川教育長

はい、手始めに埴生地域交流センターに掲示されるとよろしいかと思えます。

○桶谷埴生幼稚園長

ありがとうございます。検討していきます。

○長谷川教育長

それからこの記事の中に、厚陽保育園との交流のことが書いてありますね。

○桶谷埴生幼稚園長

はい。

○長谷川教育長

子ども達の様子はどうでしたか。

○桶谷埴生幼稚園長

最初は緊張していましたが、埴生幼稚園の子は5名、厚陽保育園さんは1名欠席して6名の参加

でした。人数は同じくらいではあったのですが、遊びを通してかるたを通してお互いが、「お坊さんが出た」等会話がはずんでいました。でも最初は緊張して、なかなか会話はなかったです。

○長谷川教育長

いい経験だな、というふうに見ていました。今後ともよろしくお願いします。

よろしいですか。それでは和田学校給食センター所長、お願いします。

○和田学校給食センター所長

はい。学校給食センターです。よろしくお願いします。

中学3年生にとっては学校給食があとわずかです。今月の給食につきましては、中学3年生がもう一度食べたいと思った給食のリクエストランキング上位の献立が多くなっております。例えばご飯・パン部門では揚げパン、わかめご飯。麺類部門では肉うどん、ミートスパゲッティ。主菜部門では鶏のから揚げ、チキンチキンごぼう、豚キムチ。汁・カレー・シチュー部門ではカレー、かきたま汁、ABCスープなど、できる限り希望に沿えるように提供しております。

その他といたしましては明後日18日土曜日ですが、親子料理教室を予定しております。新型コロナウイルスの感染者が一時期に比べ落ち着いてきておりますが、感染対策を徹底して行っております。

学校給食センターからは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

はい、砂川委員。

○砂川委員

先月1月の定例会の前に試食会、本当にありがとうございました。温かいおもてなしで非常に美味しくいただいて、お礼を言わなくてはと思っておりました。私は小児科なので、お父さんお母さん達と色々話す機会が多いのですが、ある学校の保護者から言われたことに、子どもの学校給食の食べ残しが多いと。そのお子さんは小学校4年生の女の子なのですが、学校でそういう話し合いの場があったときに自分たちのクラスは、全校生に向けて学校の給食を残さないように、全部食べるようにということを話題に出したことを話されました。一応学校給食というものは本当に子ども達にとって楽しみなものなんですよ。今は何でも肉も野菜も値上げしていますから、なかなか給食を作り上げることは大変なご苦労があるんだろうなと思っています。私が言いたいのは給食費はそのままにしておいて、もう少し学校給食の方に予算を付けて欲しい、と言わせてもらえたらいいなど。

○長谷川教育長

まず、残食についてはどなたに聞かれたのか分かりませんが、学校によっては状況が違ってくるというふうに思います。それぞれの毎月の残食の量については各学校長に通知をしていて、学校によっては競っている学校同士もあって、残食ゼロの学校もあります。一概には残食が多いというふうには言えないのではないかと思います。子ども達が「残食をゼロにしていこう」という話し合いをしたというところに、非常に価値があると思います。自分たちで目標を設定して、今、SDGsと言われていますが、食を大事にしていくというのはとても大事なことだと思います。

私が現場にいた時はちょうどセンター化した時なのですが、毎日おいしいごはんを食べさせていただいていたので、特にご飯は以前よりずいぶん美味しくなったなという印象を持っています。

給食費については来年度検討していく必要があるかなと思います。今年度も補正をして、物価

の上昇分をカバーしたところがあるのですが、今ご指摘いただいたように、給食費の今後については課題として承っておきたいと思っております。

○砂川委員

ありがとうございました。

○長谷川教育長

和田所長、良かったですか。

○和田学校給食センター所長

はい。ありがとうございました。

○長谷川教育長

それでは社会教育課長、お願いします。

○船林社会教育課長

社会教育課から2点ご報告いたします。

まず1点目は家庭教育支援チームの会議におきましての研修についてです。1月31日に今年度3回目の家庭教育支援チーム会議を開催いたしました。その中で今回初めての試みとして地域交流センター長も参加していただいて、外部講師によるオンライン研修を行いました。講師は長崎県島原市教育委員会の社会教育課長さんです。島原市で取り組んでいる家庭教育支援に関する先進的な実践をご紹介いただき、その後、中学校区ごとにメンバーで集まって情報共有などのグループ協議を行いました。今後も様々な機会を捉えてこうした研修の場を充実させていきたいと考えております。

続きまして、先ほど教育長が詳しくご報告されましたが、有帆地域交流センターの表彰の件でございますが、2月3日に有帆地域交流センターの優良公民館文部科学大臣表彰の表彰式が東京で行われまして、山本センター長がそれに出席をされました。また昨日はセンター長と地域の方々計6名が市長と教育長を表敬訪問され、受賞の報告をされたところでございます。受賞の理由につきましても、学校や地域住民と一体となって、様々な行事や活動に積極的に取り組んでおられること、それから地域交流センターだよりも地域の方と協力して、レベルの高いものを作成されているというところから、人づくり地域づくりが進んでいる、大きく進んでいるということが評価されたものと思っております。

続きまして新聞記事でございますが、社会教育課の新聞記事「デコ巻きずし教室」というのを1枚めくっていただきまして、2ページ目の市主催のスマホ教室というところです。現在市の主催のスマートフォン教室が各地域交流センターで開催をされています。これは市のデジタル推進室が、国・県の補助事業を活用して、デジタルデバイドの解消に向けて、通信事業者と協力して開催しているものです。参加者の多くは高齢の方で、スマートフォンを持っていない、または持っていてもアプリの使い方が分からない、学びたいといった理由で参加されており、熱心に使い方を学んでおられます。今年度の事業は、すべての交流センターでそれぞれ4回行われる予定で、今現在それが進んでいるところでございます。

続きまして、次のページですが、岩崎寺の仏像公開の記事です。有帆角石の岩崎寺には県の指定文化財の仏像7体が収蔵されており、毎年2月18日の一日だけ開帳されます。仏像はいずれも平安時代から鎌倉時代に制作されたもので、大変貴重なものです。またこの7体のうちの木造千手観音菩薩立像などの3体は秘仏とされており、毎年この日だけの開帳となります。今週の土曜日、今年は土曜日ですので、もしお時間のご都合がよろしければこの機会にご覧いただければと思います。

社会教育課からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。よろしいでしょうか。

はい、それでは山本図書館長、お願いします。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい。市立図書館からご報告申し上げます。

市立図書館関係資料をご覧いただければと思います。最初に2月終わりから3月にかけて蔵書点検のため休館をさせていただきます。中央図書館・分館については2月27日から3月6日まで、厚狭図書館については2月20日から2月27日まで。その間休館となります。

中央図書館の行事の報告については、1月・2月の行事報告として、2月1日に「ぬいぐるみのとしょかんおとまり会 in 節分」というのを行いました。これは新聞記事を付けておりますので、見ていただけたらと思います。それと2月4日には「サイエンスカフェ」を行いました。そして2月12日には「図書館でオープンマイク！」これは2回目になりますが、図書館創発会議の主催で行いました。この回には東ティモールの留学生やインドネシアの若者も参加してとても賑やかな会になりました。

次に2月3月の行事予定ですけれども、2月18日放送大学と連携の公開講座を開催いたします。「対話的關係を作り出すためのヒントを探る」ということで宇部フロンティア大学の石先生にお話ししていただくことになっております。それから3月7日に図書館協議会を開催する予定です。そして3月11日土曜日には「共生のまちづくり講座」を開催いたします。これは「視覚障がい者と共に野山に出かけよう」という演題ですが、実際に視覚障がい者と一緒に野山に出かけられた体験談が中心になるのかなと思っております。それから3月26日の日曜日、「ふしぎ！おどろき！山口の動物たち」ということで、山口県立博物館の学芸員の方に来ていただきお話をさせていただくことになっております。それから厚狭図書館につきましては、3月4日「あさとしょかん春のぼんまつり」図書館祭りを開催いたします。

最後に、新聞記事をご覧いただければと思います。『文芸あさぎまだら』という文芸誌を発行しました。これは随筆カフェとポエムカフェを毎月開催しておりますが、この成果物が5、6年分蓄積があるので、それらの中から選んで文芸誌として発行したものでございます。創刊号としておりますので、また貯まり次第、次の号を発行するというようにしております。

図書館からは以上でございます。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。よろしいですか。

私はオープンマイクって何をするのかと最初は思いましたが、新聞を見ていろんな催しが発表されたようですね。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい、そうです。自分を表現したいという方々が潜在的にたくさんいらっしゃるのではないかと、それは朗読であったり歌であったり、踊りだったり。そういう場として図書館でやっていたらこうということで開催いたしました。

○長谷川教育長

すごいな、と思います。自分たちの世代だったら、なんだか恥ずかしいという気持ちが前に出てしまって、そういった表現というものに対して臆病になっている。ですがそういったことを積極的

にやろうという気運が高まっていて、すごいなと思いました。子ども達も参加できるといいですね。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

そうですね。

○砂川委員

はい。

○長谷川教育長

はい、砂川委員。

○砂川委員

図書館という所はできるだけ声を出さな、という所ですが、全くの逆の方向ですごいですね。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

それは特別の部屋でしますので、声が出ても大丈夫です。

○砂川委員

そうですか。2階ですね。

○長谷川教育長

よろしいですか。

○砂川委員

はい。

○長谷川教育長

視聴覚室がありますし、素晴らしいステレオもあると思います。音を出しても大丈夫だろうと思います。

○砂川委員

演奏会等もされていますよね。

○山本中央図書館長兼厚狭図書館長

はい、そうですね。

○長谷川教育長

それでは若山歴史民俗資料館長、お願いします。

○若山歴史民俗資料館長

はい。歴史民俗資料館からご報告いたします。資料をお配りしておりますので、そちらをご覧ください。

1月28日に企画展「窯のまち」の3回目のギャラリートークを開催し、今月7日に企画展が終了いたしました。この企画展は学校の見学時期に合わせて開催日時を決めておりまして、有帆小学校と厚陽小学校から来館していただきました。昔のくらしの学習と併せて企画展の方も見学いたしました。24日には本山小学校が来館いたします。

先月チラシをお配りしました、企画展「大田家文書」が明日から始まります。大田家文書は約6千点あるとみられており、そのうちの6百点を今年度までに解説し、酒造業や村の庄屋としての大田家について紹介していきます。チラシ配布後問い合わせが続いておりまして、関心を持たれている方が多いと感じています。18日土曜日にはギャラリートークを開催いたします。また、企画展「窯のまち」展の撤収と同時に、1階の皿山の焼き物のコーナーをより分かりやすくリニューアルいたしました。

資料館からは以上です。

○長谷川教育長

はい。ただ今の報告に何かご質問等はございますか。

明日からですね。私も足を運びたいと思います。委員の皆様もよろしく申し上げます。

○若山歴史民俗資料館長

よろしく申し上げます。

○長谷川教育長

それでは山本中学校長会長、よろしく申し上げます。

○山本中学校長会長

はい。中学校から3点ほどご報告いたします。

1点目は2年生を中心とした新生徒会の発足と活動についてです。今学期からどの中学校でも新生徒会の活動が本格化しております。本校では3代続いて女性の生徒会長が選出され、新生徒会が進行する先日の全校集会では、コロナ禍の中、受験を控える3年生を配慮して、体育館アリーナに3年生、サブアリーナに2年生、多目的ホールに1年生が学年ごとに集まって、生徒会と3年生がいる体育館アリーナから中継で行いました。新生徒会長が生徒会の活動目標「昇華」、昇華というのは教育長さんをご専門の理科の方でよく使われる言葉ですが、個体が液体を経ないで気体になる現象ですけれども、子ども達はその現象から高度な状態に飛躍するという目標を掲げて、未来に向かって飛び上がろうと発表して、さらに高みをめざしていこうという願いを込めて会長は語っておりました。また、その具現化に向けて3つの柱となる重点目標に「挨拶」お互いに気持ちの良い挨拶ができる、「自主性」気付きをアクションにできる、「協調性」人の意見や行動を尊重することができる、を掲げてみんなが居心地の良い学校をめざすと熱く語っておりました。現在は来月3日の全校集会で行う「3年生を送る会」のアイデアを練って、様々な企画・準備に取りかかっているところです。その姿を見ると、3年生の背中を見て新生徒会が工夫を凝らし主体的な活動をし始めたことに、期待をしているところです。

2点目は学習・3年生の進路関係についてです。どの中学校も今月末には1、2年生は学年末テストを実施します。また3年生は公立の推薦入試を終え、3月7日火曜日の公立一般入試に向けて、今、出願準備の真っただ中です。来週の月曜日、20日から出願が開始され、24日金曜日が締め切りとなっております。14日の推薦入試の結果を受けて、今週末に最終の出願校を確定する生徒もいます。慎重に保護者と共に協議を進めながら、確実な進路をめざしていきたいと思っています。

それから先月の報告の中で、本校でコロナのために第一志望の私立高等学校の受験ができなかった生徒が追試になったと申し上げましたが、追試に合格して進学が確定しております。中学校は今、緊張感の中、コロナの感染が広がらないことを祈っております。

3点目は先ほど学校教育課長も話されましたが、どの学校も学校運営協議会を開いて学校評価の関係者評価を受けておるところです。今年度の取組を省察するとともに、新年度の取組や計画を検討しておるところです。

最後に中3のリクエスト献立、生徒だけでなく教職員にも大好評です。特に中学生は食べ盛りで、献立に給食の食育支援員さんが赤い星印を付けてくれています。それを見ながら楽しみにしております。今後ともどうぞよろしく申し上げます。

以上です。

○長谷川教育長

今、生徒会の話がございました。私も中学校教員でしたから、中学校ではやはり生徒会っていう

のはすごくワクワクするものですね。子ども達の成長も見られるし、学校の雰囲気もそれによって変わりますし。しっかりリーダーを育てて、いい方向に成長してくれるといいなというふうに思いました。期待をしております。よろしいでしょうか。

○末永委員

はい、よろしいでしょうか。

○長谷川教育長

はい、末永委員。

○末永委員

はい。「学校だより」をいつも見させていただいて、高千帆中学校の「学校だより」にすごくいいお話が載っていて、ぜひご紹介させていただきたいなと思っておりました。「学校だより」に校長先生がよく入れてくださる、生徒たちがやったすごくいい行いの話とか、地域の方から感謝された話とか実例を挙げてくださるのですが、この1月に生徒が帰っている夕方に道路が陥没している所があって、そこが危ないからと夕方行き来する車にそれを知らせてくれて、それを通りかかった女性が警察署まで連絡して。それが結構大きな陥没だったようです。それを見かけた地域の方からお手紙が届いて、ありがとうございますと感謝のお手紙をいただきました、というのを「学校だより」に載せてくださっていました。ちょうどこの時期に自治会内の回覧板にもこの「学校だより」が小学校と中学校の分が入ってくるのですが、それでも見ることができて、地域の方にもこういう話が広がるので、「学校だより」にこういうのを載せていただくのはとても良いことだと思います。ありがとうございました。特に私が知っている子達だったので、すごく嬉しかったですし、どんどんこれからもこういうふうな報告をしていただきたいな、と思いました。ありがとうございました。以上です。

○長谷川教育長

はい、ありがとうございます。今配られている2月号にもその続きが出ていますよね。ありがとうございました。他にはよろしいですか。

次回の会議日程

○長谷川教育長

それでは次回会議日程について、教育総務課長よろしくお願ひします。

○浅川教育総務課長

はい。3月の定例会の日時と場所をお決めいただきたいと思ひます。事務局からは3月23日木曜日午後2時から、市役所で行う案でお諮りします。

○長谷川教育長

はい、それでは定例会、3月23日14時から、市役所ということですので、よろしくお願ひします。臨時会につきましては先ほどご連絡したとおりですので、よろしくお願ひします。

それでは皆さん、よろしいですか。

○砂川委員

日程表では有帆地域交流センターになっていましたが、変わったのですね。市役所ですね。

○浅川教育総務課長

はい。変更しました。ただ迷わせて申し訳ないのですが、皆様もご存じのとおり改修工事をしておりますので、また有帆に戻るかもしれませんが、今の時点では市役所の方でお願いしたいと思っております。

○長谷川教育長

よろしいでしょうか。他の会議との兼ね合いもあるので、今回市役所の方が移動が簡単ということで変えさせていただきました。場所を間違われませんよう、お願いいたします。

それでは前半を終了いたします。皆さん、お疲れさまでした。

15時43分休憩

15時44分再開

議案第2号 山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について

○長谷川教育長

はい、それでは議事の方に移ります。議案第2号「山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」事務局説明をお願いします。

○浅川教育総務課長

はい。議案第2号「山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」です。3ページの被表彰者候補者の名簿をご覧ください。この度は学校支援ボランティアが2団体、それから文化財保護で1名、その他教育分野におけるボランティアが1団体、青少年育成センター補導員が2名となっております。団体につきましては、学習支援として読み語り活動をされておられる本山小学校「読み語りの会」が21年の従事、それから見守り活動・あいさつ運動をされている「小野田校区児童安全対策協議会」が15年の従事、図書館ボランティアをされている「山陽小野田 語り部の会」が11年の従事をされており、個人では文化財保護活動として、松永保美さんが11年の従事、青少年育成センター補導員から中村博行さん、谷川百枝さんがそれぞれ10年従事されております。以上です。

○長谷川教育長

はい、ただ今の説明に何かご質問等はございますか。

この度は広い分野から被表彰者を選ばさせていただきました。これまでは青少年育成センター補導員に偏っていたところがあるので、他にも色々な教育に関わっておられる方々がおられますので、そういったところで広くこのように出させていただいたということになります。まだまだ他にもおられます。見守りの活動をされているところについてはもう10年十分超えているところも他にもたくさんありますので、年次的に増やし、表彰していけたらというふうに考えております。よろしいでしょうか。

はい、それでは採決いたします。議案第2号「山陽小野田市教育委員会表彰の被表彰者の決定について」ご異議はないでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。賛成多数と認めます。議案第2号は賛成多数により可決をいたしました。

議案第3号 山陽小野田市文化財審議会委員の任免について

○長谷川教育長

次に議案第3号「山陽小野田市文化財審議会委員の任免について」事務局、説明をお願いします。

○松林社会教育課課長

はい。それでは議案第3号「山陽小野田市文化財審議会委員の任免について」ご審議をお願いいたします。この度文化財審議会委員の松永保美委員より、一身上の都合による辞任願が提出されたため、委員を免ずることについてお諮りするものでございます。なお、後任の委員につきましては、文化財に関する高度な専門性と深い見識を有する方の選定が必要であり、相当な時間を要することからこの度は後任の委員を選定しないことといたします。なお、条例上は「審議会は委員10人以内をもって組織する」とあり、この方の任免が決まりましたら文化財審議会委員は5名となりますので、条例の規定に収まるものであります。また次回の委員改選の時期が令和5年6月1日となっておりますので、その際に改めて適任の方を選定したいと考えております。以上ご審議のほどよろしくをお願いします。

○長谷川教育長

はい。この件に関しまして何かご質問等はございましたらお願いします。よろしいですか。

はい、それでは採決いたします。議案第3号「山陽小野田市文化財審議会委員の任免について」原案どおり決することにご異議はないでしょうか。賛成いただける方の挙手をお願いいたします。

(全員挙手)

はい。ありがとうございます。議案第3号は賛成多数により可決されました。

報告第2号 第1回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について

○長谷川教育長

次に報告第2号「第1回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について」事務局説明をお願いします。

○松林社会教育課課長

はい。それでは報告第2号「第1回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について」ご報告いたします。資料は6ページをご覧ください。令和4年12月21日に第1回文化財審議会を開催いたしました。委員は5名が出席、欠席は1名でございます。会議の内容は現在2か年継続事業で実施しております、高泊開作浜五挺唐樋保存活用計画策定業務につきまして、これの策定委員会で協議を進めていることや、この間の文献調査により従来とは異なる見解が推測されるということが分かったため、その調査結果について報告をいたしました。

次に、旦の皿山について審議会委員で山口大学埋蔵文化財助教の田畑直彦氏からご講演をいただき、今後の保存活用について委員で協議を行いました。また、市内在住の個人所有絵画、「絹本著

色雪舟等楊像」が国の重要文化財に指定される運びであることを報告いたしました。以上で報告を終わります。

○長谷川教育長

はい。ただ今の件に関しましてご意見ご質問等ありましたらお願いします。よろしいですか。

はい、それでは採決いたします。報告第2号「第1回山陽小野田市文化財審議会会議の結果について」原案どおり決することにご異議はございませんでしょうか。賛成いただける方の挙手を願います。

(全員挙手)

はい。ありがとうございます。報告第2号は賛成多数により承認をされました。

その他

県費負担教職員の人事について

山陽小野田市教育委員会会議規則第9条ただし書きの規定により、非公開

その他

○長谷川教育長

次に(3)その他についてですが、何かございますか。

閉 会

○長谷川教育長

それでは本日予定しておりました議事は全て終わりました。以上を持ちまして会議を閉じます。皆様、お疲れさまでした。

15時53分閉会

山陽小野田市教育委員会会議規則第19条の規定により、ここに署名または記名押印する。

令和5年2月16日

教 育 長

印

署 名 委 員

印

署 名 委 員

印

会議録を調製した職員

印